

# 就職活動で発揮する 文学部の学びの力

## 01 13専攻・1プログラムで磨かれる 「柔軟な思考力」と「多角的な視点」

文学部には13専攻・1プログラムがあり、自専攻を軸としながら、他専攻の分野にも興味を広げることができます。約700の専攻科目のうち、およそ400科目が「ゴシック科目」という所属している専攻に関わらず履修できる科目です。専攻で高度な専門性を身につけると同時に、関心のあるほかの分野も学ぶことで、**個々の専門分野の境界を越えて、「柔軟な思考力」と物事を「多角的に捉える視点」**を養うことができます。

## 02 充実の少人数教育で コミュニケーション能力が向上

文学部では少人数の授業科目を多く設置しています。また、全専攻（プログラム）で1年次から基礎演習を設置しています。少人数の授業や演習では「発表」や「人の発表に対して質問・意見をする」機会が多く、論理的な思考と多角的視野で考察し、**「相手にわかりやすく伝える能力」**が養われます。社会で求められるコミュニケーション能力とは、相手の話の意図をくみ取ったうえで、それに対して明確な回答ができる力といわれていますが、文学部では少人数教育でそれらの力を培います。

## 03 企業のエントリーシート対策に つながる「文章作成能力」

文学部ではレポートを作成する機会が多く、いくつかの専攻（プログラム）では卒業論文、卒業研究もしくは卒業課題研究が必須です。レポートや卒業論文作成のためには、多くの文献を読み、その中から適切な情報を収集し、自分なりの意見を持つ必要があるため、**「情報収集能力」**を培うことができます。また、説得力のある長文を書き、人に伝えるための**「文章作成能力」**を養うことができます。

## 04 企業が採用選考で重視する「主体性」 を高める文学部のサポート体制

文学部独自に設置している学外活動応援奨学金では、学外での研究・調査活動、初修外国語などの語学研修、国内外でのインターンシップ、ボランティア活動への参加など、大学の外にも学びの場を広げる機会を持つとすることを学生を応援しています。また、「グローバル・スタディーズ」や「グローバル・ソシオロジー・プログラム」という授業では、海外への実地調査を行います。文学部では学生の**「主体性」**を高めるサポート体制を整えています。

PICK UP!

## 将来設計について考える 文学部のキャリア教育科目

文学部では1・2年次配当で「キャリアデザイン」という科目を設置し、低年次から自分の将来設計について考える場を提供しています。

### ▶ キャリアデザイン(1)

前期はさまざまな分野からのゲストスピーカーを招き、キャリアを考えるうえで不可欠なテーマについてご講演いただき、受講生が自分自身の人生をどう生きていくのか、仕事をどのように捉えていくかを考えます。

### ▶ キャリアデザイン(2)

後期は企業の新卒採用を支援する現役コンサルタントの方が講師となり、「企業や社会の捉え方」「自己理解を深めるアプローチ」について考えます。今後の大学生活の中で、キャリアや進路選択を自分で考えるための「土台」づくりの役に立つ「もの」の見方（フレームワーク）を理解し、応用できることをめざします。

PICK UP!

## 教育・学習支援に強い 文学部

教職課程の科目で卒業単位数に含まれる科目が多数あるため、他学部と比較して教職課程の単位を取得しやすいという特徴があります。2021年度の教員免許状（一種）授与件数においても、**中央大学全体411件のうち約半数の203件**が文学部です。

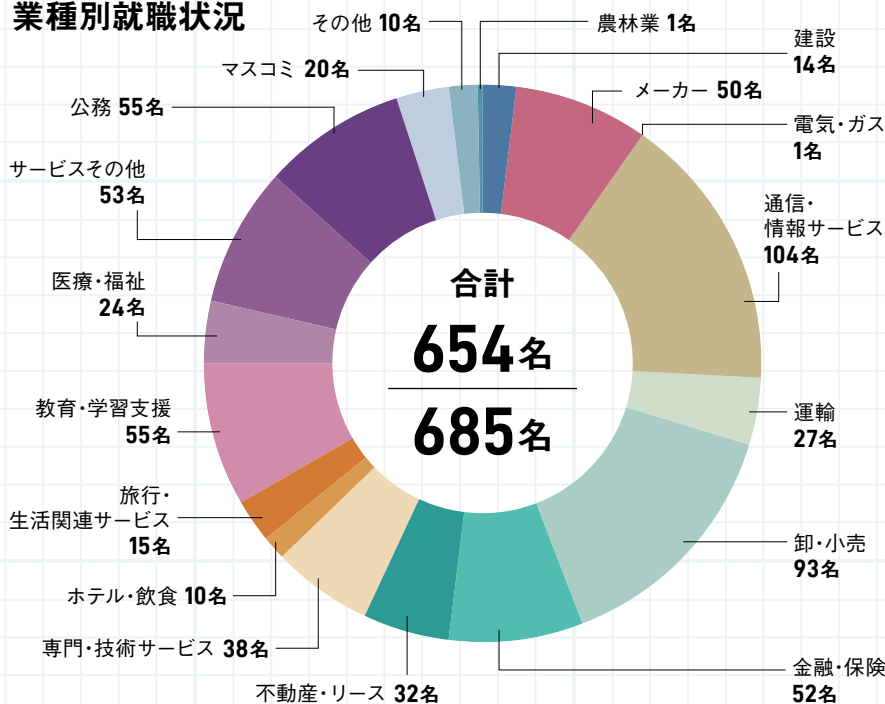
### 文学部で取得できる教員免許状

| 専攻(プログラム)        | 中学校教諭一種免許状       | 高等学校教諭一種免許状           |
|------------------|------------------|-----------------------|
| 国文学専攻            | 国語               | 国語                    |
| 英語文学文化専攻         | 英語               | 英語                    |
| ドイツ語文学文化専攻       | ドイツ語・英語          | ドイツ語・英語               |
| フランス語文学文化専攻      | フランス語・英語         | フランス語・英語              |
| 中国言語文化専攻         | 中国語・国語または英語      | 中国語・国語または英語           |
| 日本史学専攻           | 社会               | 地理歴史・公民               |
| 東洋史学専攻           | 社会               | 地理歴史・公民               |
| 西洋史学専攻           | 社会               | 地理歴史・公民               |
| 哲学専攻             | 社会               | 地理歴史・公民               |
| 社会学専攻            | 社会               | 地理歴史・公民               |
| 社会情報学専攻          | 社会               | 地理歴史・公民               |
| 教育学専攻            | 社会または国語<br>または英語 | 地理歴史・公民または<br>国語または英語 |
| 心理学専攻            | 社会               | 地理歴史・公民               |
| 学びのサポート<br>プログラム | 社会               | 地理歴史・公民               |

<注>・中国言語文化専攻は、(中国語)・(国語)、または(中国語)・(英語)の選択となります。  
・教育学専攻は、(社会)・(地理歴史)・(公民)、または(国語)、または(英語)の選択となります。  
・2020年度入学生まで、社会情報学専攻は(情報)も取得できます。

# 2022年3月中央大学文学部卒業生 就職実績

## 業種別就職状況



就職  
決定率 **95.5%**

## 2022年3月卒業生の就職実績について

2022年3月卒業生の中で最も多い就職先は「神奈川県教育委員会」でした。文学部では幅広い業界への就職実績がありますが、他学部と比較して「教育・学習支援」への就職が多い傾向にあります。

また、「小学館」「BS朝日」といったマスコミにも強く、「野村総合研究所」「スクウェア・エニックス」といった難関民間企業への就職に加えて、県庁や市役所などの地方公務員への就職実績が多いという特徴があります。

## 業種別主な就職先一覧

### ■ 建設

大林組/鴻池組/日本電設工業/三井ホーム

### ■ メーカー（食品・飲料）

ネスレ日本/伊藤園/亀田製菓/キュービー/豊島屋/日本食研ホールディングス/山崎製パン

### ■ メーカー（繊維・化学・石油）

旭化成/日本特殊塗料/ノエビア

### ■ メーカー（電気・電子）

富士通/日本電気/フジクラ/タムラ製作所/マブチモーター/アルプスアルパイン/デンヨー/日本無線

### ■ メーカー（その他）

TOTO/JX金属/DOWAホールディングス/日立建機/王子ホールディングス/オカムラ/コナミデジタルエンタテインメント/レンゴー

### ■ 通信・情報サービス

NTTドコモ/ソフトバンク/東日本電信電話/楽天グループ/アカツキ/イー・ガーディアン/AGS/SCSK/コムチュア/Sky/スクウェア・エニックス/大和総研/地方公共団体情報システム機構/TIS/富士ソフト/三菱総研DCS/メンバーズヤマトシステム開発/インターネットイニシアティブ

### ■ 運輸

東日本旅客鉄道/AIRDO/ソラシディア/東京地下鉄/名古屋鉄道/成田国際空港/日本貨物鉄道/日本通運/三菱商事ロジスティクス/ヤマト運輸

### ■ 卸・小売（卸・商社）

エルメスジャパン/良品計画/アサヒ飲料販売/アドヴァングループあらた/内田洋行/国分グループ本社/スノーピーク/Dynabook/図書館流通センター/日本酒類販売/ミツウロコ/菱電商事

### ■ 卸・小売（小売）

大塚商会/京王ストア/成城石井/サマンサタバサジャパンリミテッド/しまむら/インホールディングス/カワチ薬品/コジマ/サンドラッグ/ツツミ/ニトリ/ヨドバシカメラ

### ■ 金融（銀行・証券・信金・カード）

あおぞら銀行/足利銀行/ソニー銀行/北海道銀行/みずほフィナンシャルグループ/三菱UFJ銀行/ゆうちょ銀行/りそなホールディングス/SMB C日興証券/大和証券グループ本社/農林中金全共連アセットマネジメント/野村証券/松井証券/埼玉県信用保証協会/住宅金融支援機構/商工組合中央金庫

### ■ 金融（保険）

イーデザイン損害保険/SOMPOひまわり生命保険/東京海上日動火災保険

/東京都農業共済組合/日本生命保険/富国生命保険/明治安田生命保険

### ■ 不動産・リース

オープンハウス/木下グループ/三栄建築設計/大京/日本エスコン/日本管理センター/三井不動産リアルティ/オリックス/みずほリース

### ■ 専門・技術サービス

アカウンティングフォース税理士法人/コナミホールディングス/ソニー・ミュージックエンタテインメント/トランス・コスモス/日本司法支援センター/野村総合研究所/PwCコンサルティング/船井総合研究所/ペリーベスト法律事務所/みずほリサーチ&テクノロジーズ

### ■ マスコミ

小学館/BS朝日/アド印刷/幻冬舎ルネッサンス/ワコー/TBSアクト/東北新社/ドキュメンタリージャパン/高橋書店/報知新聞社/山と溪谷社/読売新聞東京本社

### ■ ホテル・飲食・旅行・生活関連サービス

日本マクドナルド/アパホテル/パレスホテル/星野リゾート/東武トップツアーズ/Plan・Do・See/星野リゾート・マネジメント

### ■ 教育・学習支援

神奈川県教育委員会/埼玉県教育委員会/さいたま市教育委員会/相模原市教育委員会/静岡県教育委員会/東京都教育委員会/福島県教育委員会/法政大学/宮城県教育委員会/明治大学/横浜市教育委員会/四谷大塚/臨海/早稲田アカデミー

### ■ 医療・福祉

東京都予防医学協会/日本赤十字社/SOMPOケア/ベネッセスタイルケア

### ■ サービスその他

博報堂DYメディアパートナーズ/ジャーニーズ事務所/日本郵便/全国農業/パーソルキャリア/パーソルテンプスタッフ/マンパワーグループ/駐留軍等労働者労務管理機構/東京シティ・パレ工団/日本学術振興会/日本鉄鋼連盟/セコム/総合警備保障/パソナグループ/吉本興業ホールディングス/リゾートトラスト

### ■ 公務員（国家公務員）

厚生労働省/国税庁/国土交通省/文部科学省/高等裁判所/自衛隊/地方裁判所

### ■ 公務員（地方公務員）

東京都庁/北海道庁/群馬県庁/埼玉県庁/特別区(東京23区)/立川市役所/調布市役所/八王子市役所/横浜市役所/相模原市役所/小田原市役所/所沢市役所/南魚沼市役所/警視庁/各都道府県の警察本部



# 文学部での学びが 仕事に生かされています



伊藤忠商事株式会社

2013年3月文学部人文社会学科ドイツ語文学文化専攻卒業

もがき ゆきひろ  
茂垣 之寛氏

高校の時、世界史の授業で見た映画『シンドラーのリスト』には衝撃を受けました。幼少の頃から漠然と異文化に興味を持っていましたが、映画を通じて目にした光景は、自分の価値観を見事に壊し、同時にドイツの歴史や文化について学びたいという、私の知的好奇心をくすぐりました。中学・高校と走高跳の選手として陸上競技に打ち込んでいたこともあり、進学先として「ドイツ×部活」の両方に取り組める環境が整っている中央大学の門を自然と叩いていました。

私はスポーツ推薦で入学した手前、走高跳での成績を第一優先に日々練習に励んでいました。一方で、文学部での授業で学んだ「異文化」の理解を深めれば深めるほど、この理解を実践的に活かせる職に就きたいと思うようになりました。現職である伊藤忠商事を選んだ理由としては、就職活動で、①自分が成長できる環境があること②海外との関わりが深いこと、という観点から企業を探中、OB・OG訪問で社員に魅力的な方が多かったことでした。「海外」で「大きなビジネス」を通じて「成長したい」と希望が通り、入社後は、不動産投資の部署に配属されました。日々さまざまなご縁に恵まれる中、入社3年目には、会社の制度で中国上海へ駐在する機会も頂き、現在は、東京本社で、東アジア地域の担当として、海外パートナーと進めるインフラ不動産投資の管理を行っています。

もしかしたら、多くの皆さんは、文学という学問が卒業後の仕事に直接的繋がりが無いかもしれませんが。でもだからこそ、私は文学部で学べて良かったと、今振り返って思います。文学部には、ビジネスでは学ぶことができない多くの分野があふれています。在学中、私は知的好奇心を満たすべく、多くの授業を履修しました。大学3年時には、「ドイツ言語学」ゼミに所属し、日々人々が意識的・無意識のうちに使う「ことば」をドイツ語と日本語それぞれの視点から観察・分析し、その面白さに夢中になりました。特に、卒業論文では「ドイツと日本における謝罪行動の違い」について執筆し、言語学の視点から異文化コミュニケーションの理解を深められたことはもちろんのこと、研究過程で学んだ「仮説を立て分析する力」は、今の仕事でも大いに生かされています。

中央大学文学部は、専攻別・少人数制で先生方との距離が近く、同じ専攻の仲間との関わりが密接である点が魅力の一つです。私は、日々の部活動と学業の両立に苦勞しましたが、先生方や仲間たちの支えがあり、何とか4年間乗り越えることができました。

是非学生の皆さんもさまざまな角度からご自身の興味に触れ、学び、深めていってください。きっと、将来の可能性を広げてくれると思います。応援しています。



# 少人数制の講義で 大きく成長しました



厚生労働省一般職

2022年3月文学部人文社会学科教育学専攻卒業 / 三重県立四日市高等学校出身

みずたに あや  
水谷 彩

中学生のころから公務員になりたいと思っていました。また、教育学専攻での学びを通じて、特に児童福祉や子育て支援に興味を持っていたので、厚生労働省を選びました。3年次は新型コロナウイルス感染症の影響で対面授業がなくなったり、実地研究の現地実施がなくなったりと残念なことも多かったのですが、受講していた講義が少人数制のものが多く、3年次の1年間で大きく成長できました。頻繁に自分の意見を求められたり、発表を高頻度で行ったりする中で、自分の考えを論理的にまとめる力や自分の意見を他人に伝える力、時事的なニュースに

関する情報収集能力が高くなったと思います。先生との距離が近く、専門的な意見をいただく機会が多い文学部での学びは、大いに就職活動に活かされました。「文学部は就活に弱い」ということをよく聞きますが、まったくそんなことはないと思います。たくさんの専攻がある文学部だからこそ、さまざまな分野の深い学びが可能となり、それが就活あるいは今後の人生に幅を持たせてくれるはずです。興味のあることをたくさん見つけて、大学生活をたくさん楽しんでください。

## 領域を超えた深い学びと 複眼的思考を育てる 文学部の新授業

### 13専攻に触れるオムニバス形式の授業

学びのパスポートプログラムの必修科目「文学部の基礎／学びの基礎演習(1)B」とは

文学部には学問分野を異にする13の専攻と、2021年新設の1プログラムがあります。その新設プログラムである「学びのパスポートプログラム」の1年次の必修科目「文学部の基礎／学びの基礎演習(1)B」は、あらかじめ設定した共通テーマについて各専攻から一人の教員が出て講義を行うオムニバス形式の授業です。昨年度のテーマは「病気・災害と社会」。社会が直面している喫緊の課題について考えるにあたり、多様なアプローチの仕方があることを学びました。毎回、授業の最後には

教員が示す課題に応じた小レポートの提出が求められ、その結果を踏まえた総評がmanaba(全学授業支援システム)を通してフィードバックされます。授業を取りまとめるコーディネーター役の教員もおり、文学部の特徴でもあるきめ細やかな教育が実践されています。13専攻に幅広く触れながら視野を広げることができるこの授業は、2022年度も後期に同じテーマで開講される予定です。

\*本科目は2021年度以降入学生対象の科目です。

### 13専攻の教員が共通テーマを基に週替わりで講義 【2021年度のテーマ:病気・災害と社会】

|                                                                      |                                                         |
|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 第1回<br>イントロダクション                                                     | 第10回<br>哲学<br>疫病をしずめる神、仏、異類<br>(大川真教授)                  |
| 第2回<br>国文学<br>江戸の大変と情報<br>(鈴木俊幸教授)                                   | 第11回<br>社会学<br>私たちの社会で病いや<br>障害をもって生きるということ<br>(天田城介教授) |
| 第3回<br>英語文学文化<br>文学は病気や災害をどう描くのか<br>—アメリカ文学の場合<br>(中野学而准教授)          | 第12回<br>社会情報学<br>情報の伝達とその信憑性<br>(宮野勝教授)                 |
| 第4回<br>ドイツ語文学文化<br>細菌学と人種主義<br>—戦前ドイツの結核をめぐる<br>議論から(磯部裕幸教授)         | 第13回<br>教育学<br>病気・衛生問題への対応からみる<br>学校観の変遷<br>(高木雅史教授)    |
| 第5回<br>フランス語文学文化<br>文明災の時代における自律<br>—フランス思想から、災害と<br>疫病を読み解く(田口卓臣教授) | 第14回<br>心理学<br>災害後の心理支援<br>(山科満教授)                      |
| 第6回<br>中国言語文化<br>武漢の都市封鎖と<br>作家の社会的役割<br>(飯塚容教授)                     |                                                         |
| 第7回<br>日本史学<br>記録された災害史<br>—地震・噴火と日本列島の社会—<br>(西川広平教授)               |                                                         |
| 第8回<br>東洋史学<br>災害と病気の関係史<br>(妹尾達彦教授)                                 |                                                         |
| 第9回<br>西洋史学<br>西洋近現代における<br>病気と社会<br>(石橋悠人教授)                        |                                                         |



社会が直面している課題に  
多様な視点でアプローチ

授業対談

**山崎** 柴田さん、まずは1年間、文学部で学んでみていかがでしたか？まなバで多岐にわたる分野について横断的に学修する中で、自分が究めたいテーマは見えてきましたか？

**柴田** もともと児童心理に関心を持っていたので、心理学についてはもっと深く学んでみたいと思っています。一方で、社会学や美術史にも興味が出てきました。学びたいが増えています。研究テーマを絞り込めずにいる状況ですが、視野が広がったと前向きに捉えています。

**山崎** 「文学部の基礎／学びの基礎演習(1)B」の昨年度のテーマは「病気・災害と社会」でした。地震や津波といった自然災害や新型コロナウイルス感染症の流行といった問題が身近にあるからこそ選んだテーマですが、中野先生はこれにどう向き合ったのでしょうか？

**中野** 私の専門分野は英語文学文化なので、「文学は病気や災害をどう描くのかーアメリカ文学の場合」と題して講義を行いました。その背景には、現在のアメリカ自体が、人種差別や経済格差といった「病気」を抱えているという前提があります。新型コロナウイルス感染症や自然災害といった表面的な問題だけでなく、文明の在り方そのものに「病気」が潜んでいることを学生の皆さんに伝えたいと

問題を多角的に捉えるために  
専攻の枠組みを超えた新授業

# 文学部の基礎／ 学びの基礎演習(1)B

学びのパスポートプログラムの1年次の必修科目であり、文学部の13専攻の学生も自由に履修できる「文学部の基礎／学びの基礎演習(1)B」。13専攻から一人ずつ教員が出て共通テーマの講義を行う、文学部ならではのこの特色のある授業について、昨年度コーディネーターを務めた日本史学専攻の山崎圭教授、英語文学文化専攻の中野学准教授、そして、昨年度この授業を受けた学びのパスポートプログラム(以下、まなバ)2年の柴田紗羽さんの3人が対談しました。

考えました。

**柴田** 中野先生の授業で取り上げられたカミュの「ペスト」がほかの先生の授業でも取り上げられていたことで、文献や歴史から学ぶことの意義を教えられました。

**山崎** 中野先生の授業は、英文のテキストを読み込みながら考察を深めるスタイルでしたよね。ほかにも柴田さんの心に残っている授業はありますか？

**柴田** フランス語文学文化(田口卓臣先生の)授業は、普段なら自分が履修しない分野だったので印象に残っています。社

会学(天田城介先生)の「私たちの社会

で病いや障害をもって生きるということ」というテーマの授業では、マイノリティがマジョリティに合わせるのが当たり前とする思想が無意識のうちに社会に浸透していることに気付かされました。

**山崎** 毎回、異なる専門分野の考え方に触れられるのは刺激的だったことと思いますが、混乱することはありませんでしたか？

**柴田** 「病気・災害と社会」という一つのテーマが軸になっていたので、混乱するこ

文学部教授  
日本史学専攻  
やまさき けい  
**山崎 圭**

文学部人文社会学科  
学びのパスポートプログラム2年  
東京都立調布南高等学校出身  
しばた さ わ  
**柴田 紗羽**

文学部准教授  
英語文学文化専攻  
なかの がくじ  
**中野 学**



とはありませんでした。むしろ、授業を重ねるごとにそれぞれのアプローチの中に共通点や相違点が見えてきて、自分の視野が広がっていくのが感じられて楽しかったです。

### 教員に質問する力も重要

**山崎** 柴田さんはこれから自分の研究テーマを見つけていくわけですが、この授業を通して自分の研究の参考になりそうなヒントは得られましたか？

**柴田** もっとたくさんの本を読みたいと思うようになりました。また、さまざまな専門の先生方に質問をしたいという気持ちも生まれました。自分自身で考える力に加え、先生方に教えを請う積極性も身につけていきたいと考えています。

**山崎** 日本史学専攻には原始・古代から近現代まで異なる時代を専門とする7人の教員がいます。たとえば江戸時代に興味を持ったら、その時代を得意とする先生に話を聞きに行くよう学生には伝えています。気軽に研究室のドアをノックできるのが、文学部の良さだと思いますよ。

**中野** そうですね。学生から質問を受けるのは非常にうれしいです。ちなみに、柴田さんは教員に質問してみたことはありますか？

**柴田** はい。心理学の山科満先生に、manaba(全学授業支援システム)を通じて質問させていただきました。山科先生

は大変丁寧に返答してください、学生と一緒に考えてくれる先生がいることがとてもありがたかったです。今度は直接先生をお訪ねして質問してみたいと思います。

### 小レポートと総評で考える力を養い学びを深める

**山崎** 授業では教員と学生、双方向のやり取りでテーマへの理解を深めるべく、毎回教員が示す課題に応じた小レポートを学生に提出してもらい、そのフィードバックとして教員が1週間後にmanabaを通じて総評を返すという形を取ってきました。

それぞれの教員の総評はどれも興味深く、たとえばドイツ語文学文化の磯部裕幸先生による授業「細菌学と人種主義―戦前ドイツの結核をめぐる議論から―」では、昨今のコロナ禍が社会の分断をもたらしたかどうか、それについてどう考えるかを問う課題が出されました。それに対する磯部先生の総評には、「案答の中には感染者と非感染者の間の分断を取り上げるものが多く、ステイホームや時短営業をする人とならない人との間で亀裂が見られる等の意見があった。国際社会においてもトランプ前米大統領がコロナウイルスをチャイナウイルスと発言したことや、ヘイトクライムが発生していることへの指摘もあり、社会でさまざまな分断が生じていることが浮かび上がった。また、分断や

亀裂が見られる一方で、隣人愛や相互扶助を大切にできる精神も見られるとの答案もあった。この点に希望を見だし、地に足の付いた楽観主義への道を模索していきたい」との趣旨が書かれていました。学生の小レポートに書かれた意見を集約しながら、社会の分断の在りようを整理し、今後の展望につなげる――。まさに、学生と教員のキャッチボールを通じて思索が深まる好例ですね。

**中野** 実は、小レポートに対して教員が総評するというのは私のアイデアだったんです。先生方が一生懸命書いてくださったおかげで、総評そのものが大変面白い読み物になったと感じています。教員自身も学びを得られる良い機会になりました。

**山崎** 中野先生は学生の小レポートを読んでどのような感想を持たれましたか？

**中野** アメリカはメディアで取り上げられる機会も多く、日本から見ると他国に比べてなじみのある国だと思います。学生も自分なりのアメリカに対するイメージをすでに持っていたと思います。作品を通してアメリカの人種問題の根深さが学生にしっかりと伝わったと実感できました。人種問題を対岸の火事と見るのではなく、自分たちにも通じる問題だと捉えてくれた学生が多かったこともうれしかったです。

**山崎** 柴田さんは、書くのに苦労した小レポートはありましたか？

**柴田** 与えられたキーワードに沿って書

く小レポートには苦戦しましたが、だからこそ考える力が養われて勉強になりました。たとえば、西洋史学の石橋悠人先生の「西洋近現代における病気と社会」の小レポートは「検疫」がキーワード。これまで自分が西洋の視点から物事を考える経験がなかったこともあり、書く際にはいろいろと考えさせられました。大変だった分、楽しかったです。

### さまざまな学びから自分の道へ

**山崎** 最後に、柴田さんの今後の学修の展望についてお聞かせください。

**柴田** 私はまなぱの1期生で先輩の前例がないため、ゼミに入るべきかも含め、どう進んでいけばいいのかまだ模索中です。まなぱの環境を最大限生かして、自分が深掘りしたい研究テーマにアプローチしていければと考えています。

**山崎** 大学は学ぶべきことが決まっている場所ではなく、学びたいことを探して学ぶ場所です。どう学べばよいか迷うのは当然のこと。「文学部の基礎／学びの基礎演習(1B)」で一つの問題に対してさまざまなアプローチがあることを知ったように、今後の学びの中で自分に合う道を見つけていってほしいです。

**中野** 好奇心を失わず、是非頑張ってください。

**柴田** ありがとうございます。頑張ります！